

来週の「売り物記事」はこれ



2019年1月11日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

パラリンピックのレジェンド「最後の挑戦」

2020東京で「金」目指すトライアスロン・土田和歌子選手

13日（日）



2020年東京パラリンピックのトライアスロンでメダル有力とされるのが土田和歌子選手（44）です=写真。

冬季、夏季両大会で金メダルを獲得しているパラリンピック界の「レジェンド」は昨年、車いすマラソンからトライアスロンに転向。「最後の挑戦」と位置づける東京大会に向けて、夫でコーチの高橋慶樹さん（45）とともに、過酷な練習を積む姿



を追います。

筆者は東京運動部の高橋秀明記者です。

はたらく 人工知能とはたらく

くらしナビ面 14日（月・祝）



人工知能（AI）の技術が日々進歩しているなか、働く現場で今どのように使われ、それによって私たちの働き方はどう変わのでしょうか。

人手不足などからAI搭載の自動清掃ロボットを2台導入し、総面積の約2割を担当している関西国際空港や、AI搭載レジが活躍している東京都内のパン店取材して、実情を報告します。



つつる道をやく

サラダぼうる面 14日（月・祝）

ヌードルライターとして、各地の麺を知り尽くしている山田祐一郎さんが、自分の思い出の麺を、裏側にある歴史、物語、料理人の愛情まで伝える新連載「つつる道をやく」がスタートします。

初回は、「人生が変わった」ほどの衝撃を受けた、福岡市の「ら〜めん屋 たつし」。いったい、何が和田さんに起きたのでしょうか。



「私は武士の娘です」……母親役・松坂慶子さんの魅力とは

夕刊特集ワイド 15日（火）

NHK連続テレビ小説「まんぷく」で、松坂慶子さん（66）の演技が評判です。演じるのは主人公の母・鈴で、決めぜりふは「私は武士の娘です」。インターネット上では、これを略した「ぶしむす」の愛称でも親しまれています。

妖艶な黒の網タイツ姿で歌った「愛の水中花」の大ヒットから40年。ちょっとふっくらした母親役が似合うようになった松坂さんの魅力に迫りました。

ハマりました 歩道橋鑑賞

くらしナビ面 16日(水)

高度成長期に大量に建造されたものの、近年は少子高齢化などにより撤去が進む歩道橋。東京都の会社員、本田晃一さん(45)は、そのはかなさに魅せられ、全国津々浦々で300以上の歩道橋を鑑賞してきました。

「同じものは一つとしてないことも魅力」と語る本田さん。東京都内で開かれた“鑑賞ツアー”に同行しました。

育休取れぬ女性医師

医療・福祉面 16日(水)



出産後に育児休業を取得できない女性医師が後を絶ちません。育児休業を取らせずに退職させる医療機関も少なくなく、「ブラック業界」ぶりに波紋が広がっています。厚生労働省の審議会が、女性医師の新たな支援策をまとめましたが、抜本改革にはほど遠いものでした。現場の実情や医学部生らの取り組みを紹介します。

【論点】 「移民社会」 どうする社会保障

オピニオン面 18日(金)

今年4月に改正入管法が施行され、日本で働く外国人の数が増える見通しです。受け入れの拡大に備え、医療や年金などの社会保障制度の見直しが課題になっています。現在の制度は日本人への適用を前提としているため、外国人の暮らしを守る上では不備もあります。

外国人労働者を日本社会の一員として受け入れるためには、どのような措置が必要になるのでしょうか。

時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。



顔真卿展開幕

「特別展 顔真卿から」=新総合面 17日(木)から

「顔真卿を語る」=夕刊1面 28日(月)から



16日から東京・上野の東京国立博物館で、特別展「顔真卿(がんしんけい) 王羲之(おうぎし)を超えた名筆」が始まります。唐代の書の巨人・顔真卿(709~85年)の代表作、書の最高峰とされる肉筆「祭姪文稿(さいてつぶんこう)」が日本で初公開されます。

開幕に合わせ、紙面では専門家が作品を紹介する「特別展 顔真卿から」、書に精通した著名人による「顔真卿を語る」の連載企画を掲載します。顔真卿の人物像と書の魅力を解き明かします。特別展は2月24日までです。